



今回は全国高校化学グランプリ2016についてお伝えします。

全国高校化学グランプリ2016

日 時： 1次選考 平成28年7月18日(月:海の日)

場 所： 岐阜大学 参加： 生徒希望者18名

内 容： 化学グランプリは、日本全国の高校生以下の皆さんの化学の実力を競い合う場として1999年より毎年開催されており、2016年は7月18日(月・祝日)の海の日に全国の会場で一次選考(マークシート式試験)を実施しました。そして、その中の成績優秀者約80名が二次選考に進出します。二次選考は実験をとまなう記述式試験で、合宿形式で行われます。

また、「化学グランプリ2016」に参加した中学3年生、高校1、2年生の中から20名程度が、2017年に開催の国際化学オリンピック・タイ大会代表候補に推薦されます。化学オリンピック代表候補には、認定証と学習用参考書が贈呈されます。

日本化学会東海支部奨励賞を受賞しました！！

今年度の全国化学グランプリ2016に本校からは、18名の生徒が受験しました。この試験に向けて、週に1回放課後の時間を利用して学習会も行いました。

残念ながら、今回の化学グランプリでは本校からは2次選考に残ることのできる生徒はいませんでした。日本化学会東海支部は愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・長野県の受験者で2次選考に残れなかった生徒の中で、特に優秀な成績を収めた生徒に「東海支部優秀賞」と「東海支部奨励賞」を授与し、**本校生徒の3年1組 太田 真瑚 さんと 柴 大虎 君 が「東海支部奨励賞」を受賞**しました。

近年の本校の受賞例としては、**2013年に東海支部長賞1名 東海支部奨励賞1名 2014年に2次選考に残り、銅賞1名**などがあります。ここ10年間で2次選考に岐阜県から残れた生徒は岐阜高校で1名と関高校で1名しかいませんので、**関高校の生徒の化学に対する興味・関心と頑張りは素晴らしい**と思います。ぜひこれからも、化学グランプリを受験し、化学に興味を持つとともに、難関大学受験の対策にもしてもらいたいです。



東海支部奨励賞の柴君と太田さん



2014年に2次選考(東北大学で開催)に残り銅賞を受賞した周戸君